

季刊
10月・11月・12月

博物館だより

FUKUSHIMA
PREFECTURAL
MUSEUM QUARTERLY
URL <http://www.general-museum.fks.ed.jp>

122

福島県立博物館

徳
裁
易
件

10月15日(土)～11月27日(日)

特集展

収蔵庫からこんにちは
福島県立博物館収蔵名品展

9月3日(土)～10月2日(日)

特別展

新たな国民のたから
文化庁購入文化財展

中
軍
活
命
名
品
展

開館30周年記念

新たな国民のたから 文化庁購入文化財展

会期・平成28年9月3日(土)～10月2日(日)

この秋、日本の「たから」が私の「ちから」になる！

文化庁では、国宝・重要文化財の指定をはじめ、文化財の保存と活用に関する様々な施策を行っています。その中に「国民のたから」である貴重な文化財が散逸したり、海外に流出したりすることを防ぐため、国が文化財を購入する事業があります。これによりこれまで多くの文化財が国の所有するところとなり、国立博物館や各地の博物館での展覧会で公開されています。

このたび福島県立博物館において、近年国が購入した文化財を中心に、これまでに国が購入し所蔵する文化財を皆様にご覧いただくことといたしました。普段なかなか目にする機会のない文化財がそろっています。この機会に「新たな国民のたから」をお楽しみください。

国宝・重要文化財(43件)が会津若松にやってくる！

■展示の構成と主な展示品

(1) 祈りのかたち

古代から鎌倉時代の多様な信仰の姿を考古資料および仏像・経典・仏画等で紹介します。

- ・重要文化財 流水文銅鐸
- ・重要文化財 木造阿弥陀如来坐像
- ・重要文化財 紙本墨書孔雀経单字音義(上卷)



木造阿弥陀如来坐像



流水文銅鐸



群仙図(部分) 曾我蕭白筆



群仙図(部分) 曾我蕭白筆



小袖 繡箔風景四季花文

(2) 武士の時代と文化

戦いの道具を芸術の域まで高めた精神性、漆工芸の粋を集めた婚礼調度品、中世社会の場面を示す古文書、「クールジャパン」と評価される日本文化の代表例として能と茶の湯の世界を取りあげ、我が国の文化の基底の一つをなす武士の世界の文化財を紹介します。

・ 国宝 太刀 銘正恒

・ 重要文化財 太刀 銘守次 革包太刀拵

・ 重要文化財 剣 銘江州甘呂俊長延文五年庚子

・ 重要文化財 後伏見天皇宸翰御消息(北山逗留之間)

・ 重要文化財 小袖 繡箔風景四季花文

・ 重要文化財 灰被天目茶碗(虹)

・ 叢梨地牡丹唐草向鶴紋散詩絵調度

(3) 受け継がれる文化・芸術

王朝文化の代表とされる和歌や物語ものが、教養・憧憬・鑑賞の対象として多様に姿を変えて中世・近世へ伝えられ、その主題が新たな文化・芸術作品として受け継がれてきた歴史を古筆や絵画等から紹介します。

・ 重要文化財 紙本墨書源氏物語

・ 重要文化財 群仙図(曾我蕭白筆)

・ 西行法師行状絵詞巻三断簡(俵屋宗達筆)

■関連行事

(1) オープニングセレモニー

日時 平成28年9月3日(土) 9時30分より

会場 エントランスホール

(2) ギャラリートーク (常設展料金が必要)

日時 平成28年9月3日(土)

会場 オープニングセレモニー終了後

企画展示室

講師 文化庁文化財調査官 ・ 当館学芸員

(3) 記念講演会 (申込不要・無料)

「上杉景勝御手撰三十五腰」とは何か?

日時 平成28年9月3日(土) 13時30分より

講師 米沢市上杉博物館学芸員 角屋由美子氏

会場 講堂



革包太刀拵

開館データ

主催	文化庁 福島県立博物館
会場	福島県立博物館 企画展示室
観覧料	常設展料金でご覧いただけます。9月19日(月)敬老の日は無料。 一般・大学生270円(210円)、高校生以下無料 ※()は20名以上の団体料金
休館日	9月5日(月)・12日(月)・20日(火)・26日(月)
観覧時間	9時30分～17時(入場は16時30分まで)

開館30周年記念

特集展

収蔵庫からこんにちは 福島県立博物館収蔵名品展

会期：10月15日(土)～11月27日(日)

開館30周年を記念する秋の特集展は、県内各地で集められた資料が眠る博物館の収蔵庫のなかで、学芸員による選りすぐりの逸品を一举にご紹介する展覧会です。

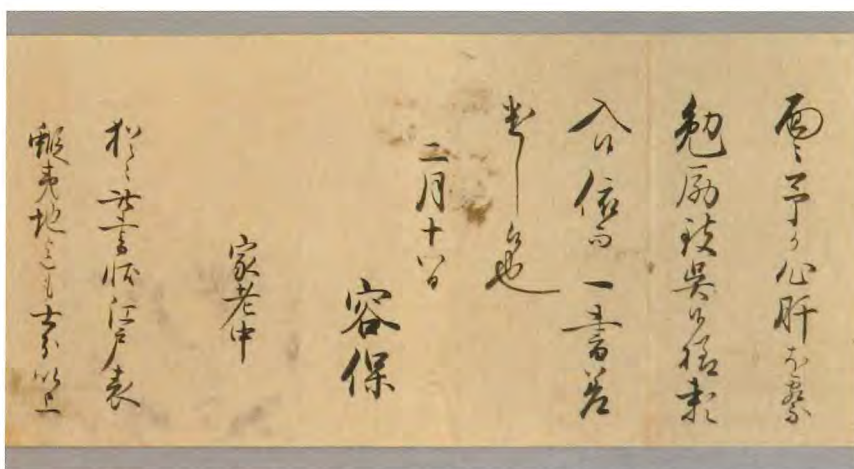
開館以来、博物館には膨大な数の資料が集められ、そして様々な調査研究活動が積み重ねられてきました。コーナー1「博物館を支えるしごと」では、その足あとを振り返ってみたいと思います。コーナー2「災害を乗り越える」では、甚大な被害をもたらした東日本大震災や原発事故を受け、博物館の使命として取り組んできた活動を多様な資料をもとにご紹介します。最後に「昭和・平成」博物館ものがたり」では、この30年という時代の歩みを、博物館の歩みと一緒に懐かしく感じていただくコーナーです。

初公開資料を含め、たくさんのお宝が収蔵庫を飛び出して、みなさまのご来館をお待ちしています。

展示構成(予定)

1 博物館を支えるしごと——調査研究30年の足あと

- ・はじめに・・・原山1号墳・・・あり!
- ・こわれた古墳時代の象徴から見つけた作り方



松平容保書状(部分)



被災した神社から救出された絵馬(須賀川市朝日稲荷神社)



原山一号墳出土埴輪(泉崎村)

2 災害を乗り越えるー祈りと記憶を未来へ

- ・心にふれるー手紙でひもとく歴史
- ・自然部門展示室事始めーフタバクジラが辿った歴史ー
- ・救い出された絵馬と祈り
- ・よみがえれ 祝いのうつつわ
- ・震災の記憶をつなぐ
- ・被災文化財保全の取り組み

3 〆昭和・平成〷 博物館ものがたり

- ・30年の世相と博物館のあゆみ
 - ・展覧会いま・むかし
 - ・博物館の顔ー展示解説員制服コレクション
- 展示解説会やこれまでご協力いただいた方々との
対談・講演会などのイベントも行う予定です。



第1収蔵庫の様子

開館データ

主催	福島県立博物館
会場	福島県立博物館 企画展示室
観覧料	常設展料金でご覧いただけます。11月3日(木)文化の日は無料。 一般・大学生270円(210円)、高校生以下無料 ※()は20名以上の団体料金
休館日	10月17日(月)・24日(月)・31日(月) 11月4日(金)・7日(月)・14日(月)・21日(月)・24日(木)
観覧時間	9時30分～17時(入場は16時30分まで)

イベントレポート

特集展「南極の自然と南極観測」

夏の特集展「南極の自然と南極観測」は、7月16日（土）、無事に開幕しました。展示準備に当たっては、担当者の中に南極に詳しい者がいるわけでもなく、みんなで試行錯誤の連続でした。展示資料の多くを御寄託くださった元日本大学教授の小元久仁夫先生には、写真の内容や資料の意義など細かな点まで御質問させていただき、最後まで御協力をいただきました。

幸いにして開幕後は多くの方々が御来館くださり、思い思いに展示を楽しんでおられる様子でした。特に「南極の氷にさわってみよう」のコーナーは人気があり、開幕後1週間もしないうちにだいぶ小さくなりました。開幕までに無くなってしまうのではないかと、たいへん心配していました。

ご好評をいただいた特集展も、8月21日（日）に最終日を迎えました。



冬の特集展

■休館日：3月20日(月)以外の月曜日、3月21日(火)

■観覧料：無料

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト成果展

会期：第一会場 平成29年2月4日(土)～4月11日(火)

第二会場 平成29年2月11日(土・祝)～4月11日(火)

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトは、文化庁の支援を受けて福島県立博物館が福島県内の大学、文化施設、NPO等との連携により2012年から実施している文化芸術による復興支援のためのアートプロジェクトです。はま・なか・あいづ(福島県の東部沿岸部・中央部・会津地方)を結び各地域の諸団体が協働して福島県の文化を活性化する活動を行っています。

これまでの活動を通して、福島文化・歴史・自然の豊かさを再発見し、震災後の福島が抱える課題を共有し共に考える場を生み出してきました。今回の展示ではこれまでの活動を通して生まれた作品を通して本プロジェクトの一端をご紹介します。



成果展京都 FUKUSHIMA SPEAKS 会場風景
(京都市：京都造形芸術大学ギャラリーオーブ)



成果展静岡トークセッション
(静岡市：金座ボタニカアートスペース)

ふくしま震災遺産保全プロジェクト 震災遺産を考える

会期：平成29年2月11日(土・祝)～4月11日(火)

ふくしま震災遺産保全プロジェクトでは、東日本大震災を「歴史」と位置づけること、「歴史」として共有し、未来に伝えることを目指しています。そのために、震災が産み出したモノや震災を示すバシヨを「震災遺産」と呼び、震災で福島県に起きたこと、すなわち「ふくしまの経験」を示す歴史的資料として収集・保全する取り組みを行っています。

本県における「震災」には、地震・津波・原子力発電所事故が与えたダメージと、これに対応した救助・避難・支援・除染などのさまざまな局面があり、広域に分布する仮設住宅団地、除染物質の広大な集積など非日常の光景が震災から5年の今も産み出されています。これもまた「震災遺産」なのです。

本特集展では、プロジェクトの成果を収集資料や写真パネルで紹介し、震災の多様性を震災遺産から考える機会を提供し、震災後のふくしまを振り返り、未来を見つめてみようと思いませんか。



東京電力女子サッカー部
マリーゼのマスコット「マリちゃん」

特別展

企画展示室
常設展料金

新たな国民のたから

文化庁購入文化財展

9月3日(土)
10月2日(日)

「9月3日(土)オープニングイベント」

オープニングセレモニー(申込不要、無料)
9時30分〜 エントランスホール

ギャラリートーク(申込不要、要常設展料金)
セレモニー終了後 企画展示室

講師 文化庁文化財調査官、当館学芸員

記念講演会(申込不要、無料)
13時30分〜 講堂

「上杉景勝御手撰三十五腰」とは何か?
講師 米沢市上杉博物館学芸員 角屋由美子氏

特集展

企画展示室
常設展料金

収蔵庫からこんにちは

福島県立博物館収蔵名品展

10月15日(土)
11月27日(日)

解説会、対談、講演会を行う予定です。
※詳細はHP等でお知らせします。

テーマ展

部門展示室
常設展料金

100年カエル館コレクション展かえる曼陀羅

100年カエル館から

9月10日(土)〜11月10日(木)

河竹登志夫さんへのオマージュ
講演会(申込不要、無料、講堂)
11月5日(土) 13時30分〜15時

講師 100年カエル館学芸員高山敬子氏、高山ヒツキ氏

けんぱくの宝2

11月22日(火)

平成29年1月22日(日)

ポイント展

総合・部門展示室
常設展料金

いろんな「箕(み)」集まれ!

8月19日(金)

11月30日(水)

藤森武写真展みちのくの仏像

東日本大震災復興祈念

8月30日(火)〜10月2日(日)(無料、エントランスホール)

収蔵資料にみる戦国の群雄

9月6日(火)
10月23日(日)

只見町野々沢の化石

9月22日(木・祝)
10月23日(日)

ふくしまの教育

10月22日(土)
11月13日(日)

ふくしま最古の化石

10月25日(火)
11月27日(日)

近世に書かれた中世の城絵図

10月25日(火)
12月18日(日)

むかしの道具〜ご飯をつくる・おしくたも〜

12月2日(金)〜平成29年3月1日(水)

開館30周年記念イベント

「おめでとうけんぱく!開館30周年記念式典」
10月15日(土) 10時〜12時30分

シンボルマーク表彰式
講演会「伝統を現状に生かす!」
講師 川柳作家・文化庁文化審議会国語分科会委員 やすみりえ氏

やすみりえ氏と当館館長による対談
★「けんぱく感謝祭」
東山芸妓さんと祝う30年
(要申込100名、無料、エントランスホール)
10月15日(土) 13時30分〜14時30分

事前申込者はゴザ席、当日参加者は立見
「作って!見て!感じる」技の世界
実技・実演フェスティバル
(申込不要、無料、エントランスホール)
10月16日(日) 10時30分〜16時

実演唐人風つくり(つくし工房・齋藤誠一さん他
博物館でも読み聞かせ)
(申込不要、無料、体験学習室)
10月16日(日) 10時30分〜11時30分

講師読み聞かせボランティア「おはなしのへや」
★「のぞいてみよう!けんぱくの裏側」
10月22日(土) 14時〜15時

講師 学芸員(要申込20名、無料、収蔵庫など)
★「けんぱく暗闇探検隊」
11月5日(土) 17時30分〜19時

講師 学芸員(要申込40名、無料、総合展示室)

講座・実演

【館長講座】(申込不要、無料、講堂)
「みんな、明日の博物館について語ろう」
第7回 10月20日(木)

第8回 11月17日(木)

第9回 12月15日(木)

講師館長 赤坂憲雄他

【考古学講座】
「縄文土器の野焼き」
(申込終了、8月参加者のみ、子どもの森)
10月2日(日) 10時〜15時

講師 学芸員 森幸彦

【交通路からみた古墳時代】
11月23日(水・祝) 13時30分〜15時

講師 学芸員 荒木隆(申込不要、無料、講堂)

【民俗講座】(申込不要、無料、講堂)
おもろ民俗学ゼミナール①
「なぜ敷居を踏んではいけないの?」
あゝ世とこの世の民俗入門!
11月12日(土) 13時30分〜14時30分

講師 学芸員 大里正樹

★【野外講座】(要申込30名、100円、視聴覚室・鶴ヶ城)
「鶴ヶ城の野鳥」
11月13日(日) 13時30分〜15時30分

講師 野鳥研究家 古川裕司氏

【はにわ大王が案内するギャラリートーク】
(申込不要、要常設展料金、総合展示室)
親子で楽しむふくしまの歴史④⑤
④ 奈良・平安時代のふくしま
10月8日(土) 14時〜15時

⑤ 鎌倉・室町時代のふくしま
12月10日(土) 14時〜15時

講師 学芸員 荒木隆

【交流会】(申込不要、飲食代各自負担、レストラン)
「サロン」ド考古学④
11月19日(土) 14時〜15時

講師 学芸員 荒木隆

【移動講演会】(申込不要、無料)

会場 福島市「じよーもびあ宮畑体験学習ホール」
中央大学学術講演会
「縄文時代の始まりと地域の確立」
10月23日(日) 14時〜15時30分

講師 中央大学文学部教授 小林謙一氏

ミュージアムイベント

「クリスマスクラシックライブ」(エントランスホール)
12月17日(土) 13時30分〜15時

友の会イベント

30周年記念イベント「奥博友の会映画祭」(講堂)
10月1日(土)

「ナイトミュージアム」エジプト王の秘密
10時30分〜(97分)

「超高速!参勤交代」13時30分〜(119分)

★は要申込

*9月の行事についてはHP等をご覧ください。
*夜の行事に小学生以下が参加する場合は、保護者の同伴をお願いします。

*要申込の行事は基本的に開催日の1ヶ月前から募集を開始します。(異なる場合もありますのでご確認ください)。電話もしくは受付カウンターでお申込みください。

*その他、行事等の詳細につきましては、月行事予定やホームページをご覧ください。

10月〜12月の休館日

10月 3日(月)・11日(火)・17日(月)・24日(月)

31日(月)

11月 4日(金)・7日(月)・14日(月)・21日(月)

24日(木)・28日(月)

12月 5日(月)・12日(月)・13日(火)・19日(月)

26日(月)

年末年始の休館日
12月28日(水)〜1月4日(水)

【お問い合わせ先】福島県立博物館
〒905-0807 会津若松市城東町1-25
Tel 0242-28-6000 Fax 0242-28-5986
HP http://www.general-museum.fks.ed.jp/
Mail netmaster@general-museum.fks.ed.jp

